

# 2022年12月期 決算説明会資料

2023/2/10



## 目次

I	2022年12月期決算概要	P 3-13
II	2023年12月期業績予想	P14-16
	参考資料	P17-20

# I

2022年12月期

## 決算概要

- 国際通貨基金（IMF）は、1月30日、2023年の世界経済成長率予測を2.9%と、3カ月前より0.2ポイント引き上げ。2024年には3.1%へと加速する見込みと発表。2022年10月の前回見通し以降、物価高の鈍化や中国経済の正常化への期待から下振れリスクは和らいでいるものの、ウクライナ情勢に伴うエネルギー危機や物価上昇に伴う各国中銀の金融引き締めが経済活動の重しに
- 世界的に原材料・エネルギーコストが高騰する中、当社業績は、前年同期比で売上高31.5%増、営業利益64.7%増、経常利益71.7%増及び親会社株主に帰属する当期純利益39.2%増と2期連続の大幅な増収増益。通期業績予想に対して、売上高11.6%増、営業利益16.0%増、経常利益25.1%増及び親会社株主に帰属する当期純利益12.1%といずれも超過達成
- キャッシュベースの稼ぐ力をはかる重要指標のEBITDAは755億円（前年同期比+210億円）と前年同期比で38.6%増、EBITDAマージンは22.2%（前年同期比+1.1%）と引き続き20%を超過
- 黒鉛電極事業は、在庫調整が一巡した結果、対面業界との比較で遅れていた市況は全体として回復も、ウクライナ危機に伴うマクロ経済の悪化から欧州需要は低迷、日本・アジアにおける競争は一層激化。一方、脱炭素に向けた電炉シフトを背景に、米国需要は大口徑を中心に旺盛、地域別の需要変化について要注視
- カーボンブラック事業は、米国環境基準を満たすための設備投資（排ガス洗浄装置など）とそれに伴う設備トラブルの影響で一部減産したものの、下期にかけて回復、旺盛な米国需要を取り込み。日本、タイ及びカナダ拠点でも堅調な自動車タイヤ生産を背景にフル稼働
- ファインカーボン事業は、各国の景気後退懸念を受けた半導体需給の緩和に加え、米国対中輸出規制による市場の不透明感が増す中、韓国子会社の半導体製造装置向けの高付加価値部材が全体をけん引。先進運転支援システム（ADAS）や電気自動車（EV）の急成長を受けて中核部品であるパワー半導体市場向けSiC半導体需要も拡大
- スメルティング&ライニング事業は、高炉ブロックでウクライナ危機の影響を受けた一方、グローバルでの堅調なアルミ生産やアルミ電解炉の改修意欲を背景とした黒鉛化カソード、半導体用ポリシリコンやアルミ合金用途向けを中心とした炭素電極の旺盛な需要の取り込みと上昇コストの製品価格への転嫁
- 格付投資情報センター（R&I）発行体格付A一更新、外部環境が不透明な中でも事業基盤の強化や収益力の底上げにより、格付の方向性は「安定的」から「ポジティブ」に改善、資金の流動性確保を目的としてCP発行限度額を拡大（500億円→600億円）

- 売上高 3,403億円 営業利益405億円 ROS 11.9% (前期 ROS 9.5%)
- 黒鉛電極の市況反転とファインカーボンの成長拡大で前期比で増収増益

(百万円)

	2021年1-12月	2022年1-12月	増減額	増減率
売上高	258,874	340,371	+81,496	+31.5%
営業利益	24,647	40,588	+15,941	+64.7%
経常利益	24,770	42,521	+17,751	+71.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,105	22,418	+6,313	+39.2%

連結対象会社 (2022年末現在)

- 連結子会社 31社
- 持分法適用会社 1社

1-12月平均為替レート

- 2021年 USD1= ¥109.80  
EUR1= ¥129.89
- 2022年 USD1= ¥131.43  
EUR1= ¥138.04

# セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

6

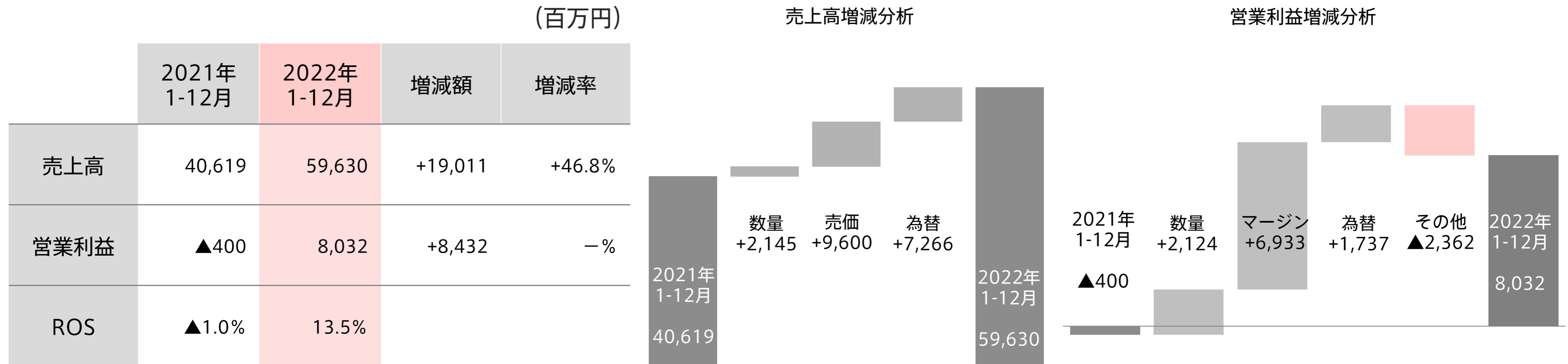
## ■ 主要4セグメントで大幅な増収、3セグメントで大幅な増益とEBITDA大幅増

(百万円)

	売上高			営業利益			EBITDA		
	2021年1-12月	2022年1-12月	増減額	2021年1-12月	2022年1-12月	増減額	2021年1-12月	2022年1-12月	増減額
黒鉛電極	40,619	59,630	+19,011	▲400	8,032	+8,432	4,162	13,549	+9,387
カーボンブラック	99,491	138,484	+38,993	8,783	12,282	+3,498	14,868	20,491	+5,623
ファインカーボン	39,125	49,393	+10,268	9,611	14,825	+5,214	15,199	21,270	+6,071
スメルティング & ライニング(SL)	49,696	65,203	+15,506	1,925	1,345	▲580	14,097	14,829	+732
工業炉関連	18,019	16,272	▲1,747	5,396	4,475	▲921	5,701	4,797	▲904
その他	摩擦材	8,880	9,362	+482	—	—	—	—	—
	負極材	2,907	1,888	▲1,019	—	—	—	—	—
	その他	135	136	+0	—	—	—	—	—
計	11,922	11,387	▲535	754	1,108	+354	1,313	1,589	+276
調整	—	—	—	▲1,423	▲1,480	▲56	▲824	▲954	▲130
合計	258,874	340,371	+81,496	24,647	40,588	+15,941	54,518	75,572	+21,054
売上高比率	—	—	—	9.5%	11.9%	+2.4%	21.1%	22.2%	+1.1%

※EBITDA =営業利益+減価償却費+のれん償却費

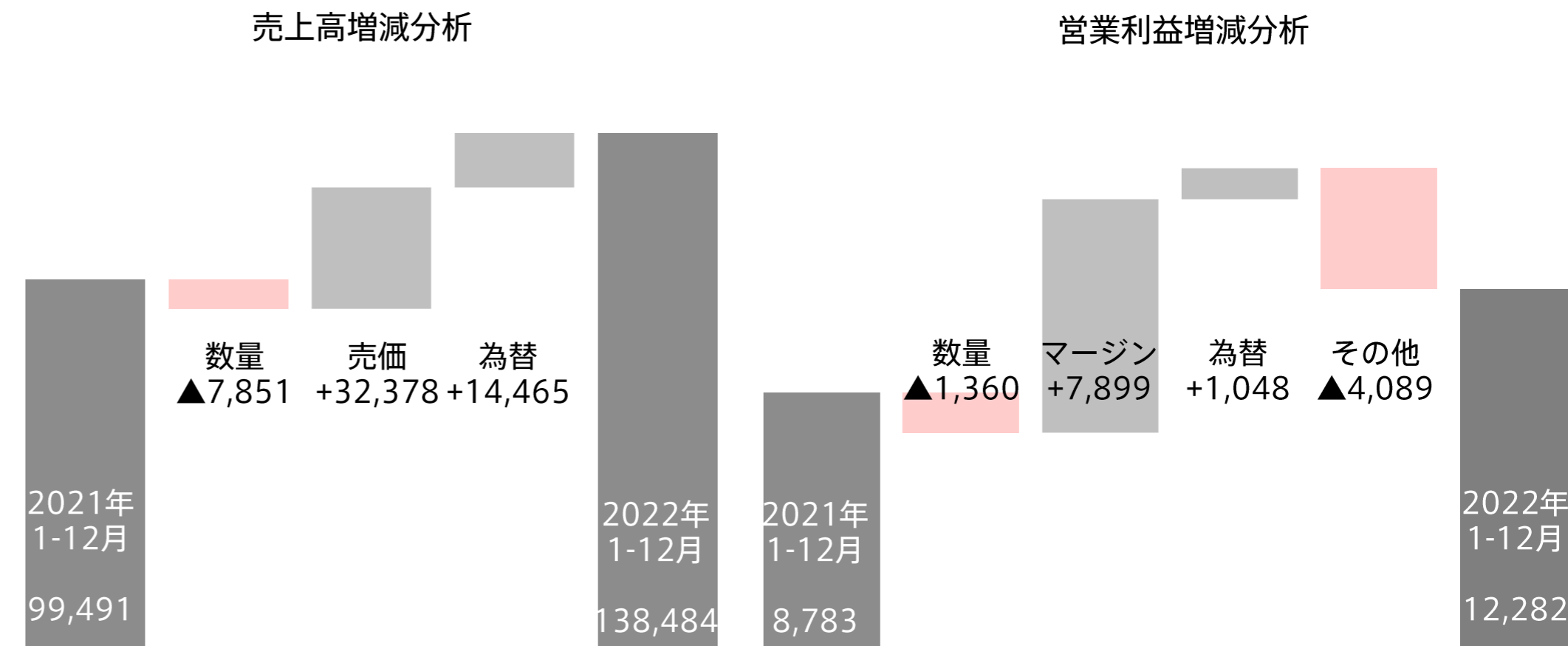
- 電極市況は昨年の在庫調整から反転。下期売価は前年比約30%上昇
- 米国拠点の大口径・高品質電極の引き合いが強く堅調。欧州拠点は弱含み
- 日本・アジアにおける競争は一層激化、需給環境を見極めながら、機動的な生産調整によって価格を維持



- 新型コロナウイルス感染再拡大に伴う半導体不足や部品調達の影響で新車生産調整が長期化。一方で、補修用タイヤの需要が、トラック、バス向けを中心に旺盛。カーボンブラックの需要は総じて堅調に推移
- 中国拠点の東海炭素（天津）有限公司を売却したことにより全体の販売数量は前期比で減少するも、原料油・エネルギーコスト上昇分の売価調整により増収
- 米国拠点の環境設備は年内に修復完了し、2023年よりフル稼働の見通し

(百万円)

	2021年 1-12月	2022年 1-12月	増減額	増減率
売上高	99,491	138,484	+38,993	+39.2%
営業利益	8,783	12,282	+3,498	+39.8%
ROS	8.8%	8.9%		

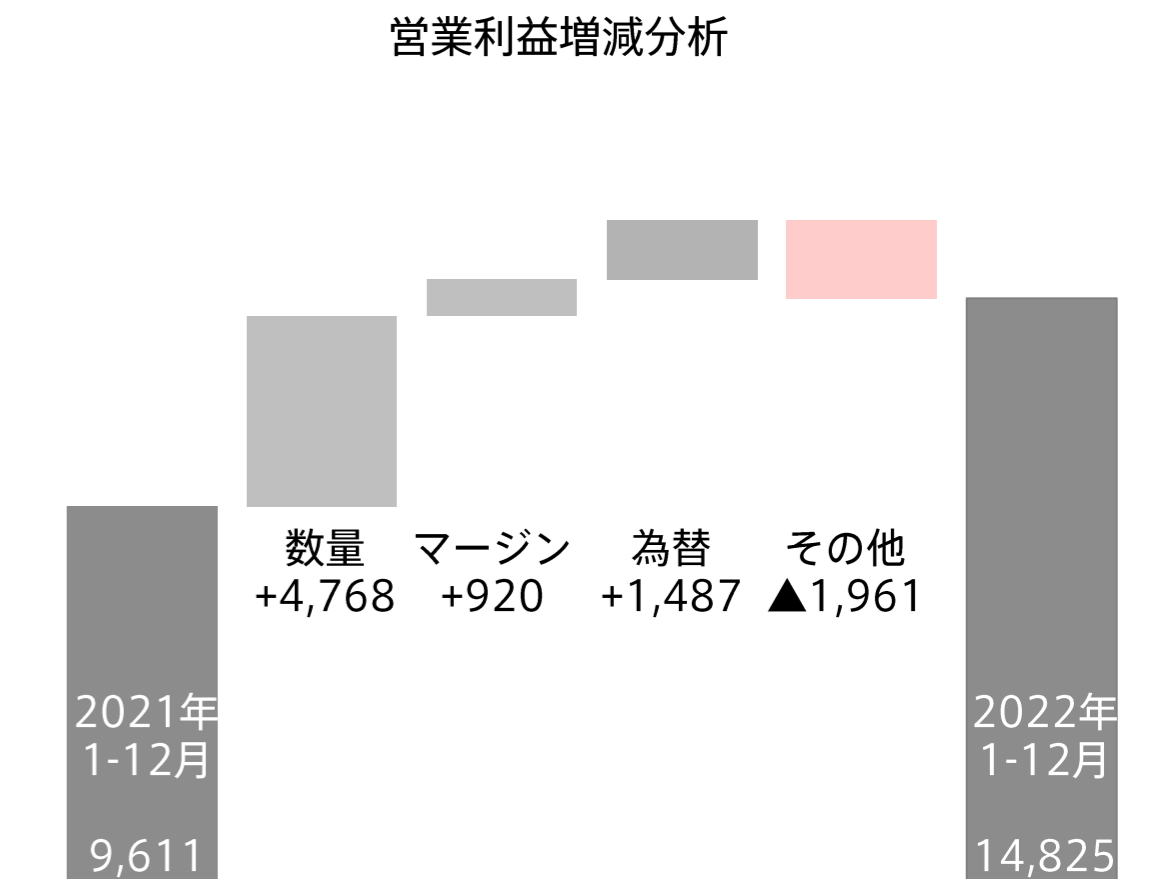
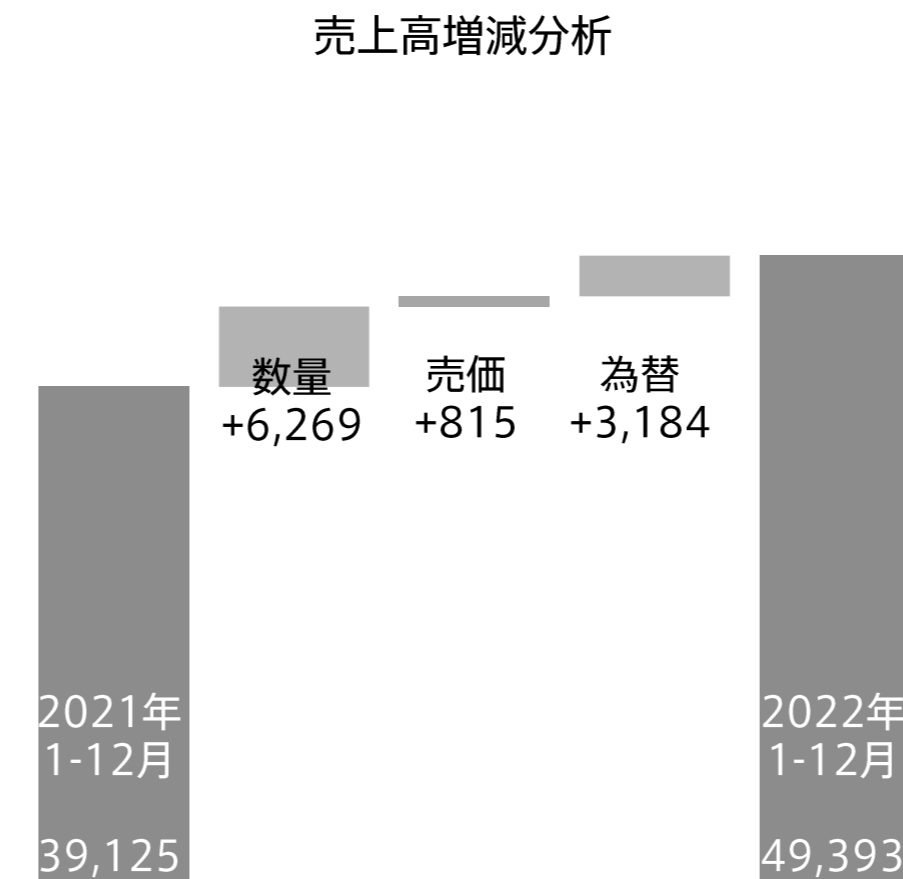




- 半導体製造のエッチング工程で使用されるソリッドSiC（シリコンカーバイド）製フォーカスリングが年間を通して全体の成長をけん引。またSiC半導体の急成長を受け関連製品の需要が拡大。一般産業向け出荷も堅調に推移
- 2023年の半導体市場は一時的な縮小を見込むも、中長期的な市場の拡大に向け成長投資を加速

(百万円)

	2021年 1-12月	2022年 1-12月	増減額	増減率
売上高	39,125	49,393	+10,268	+26.2%
営業利益	9,611	14,825	+5,214	+54.3%
ROS	24.6%	30.0%		

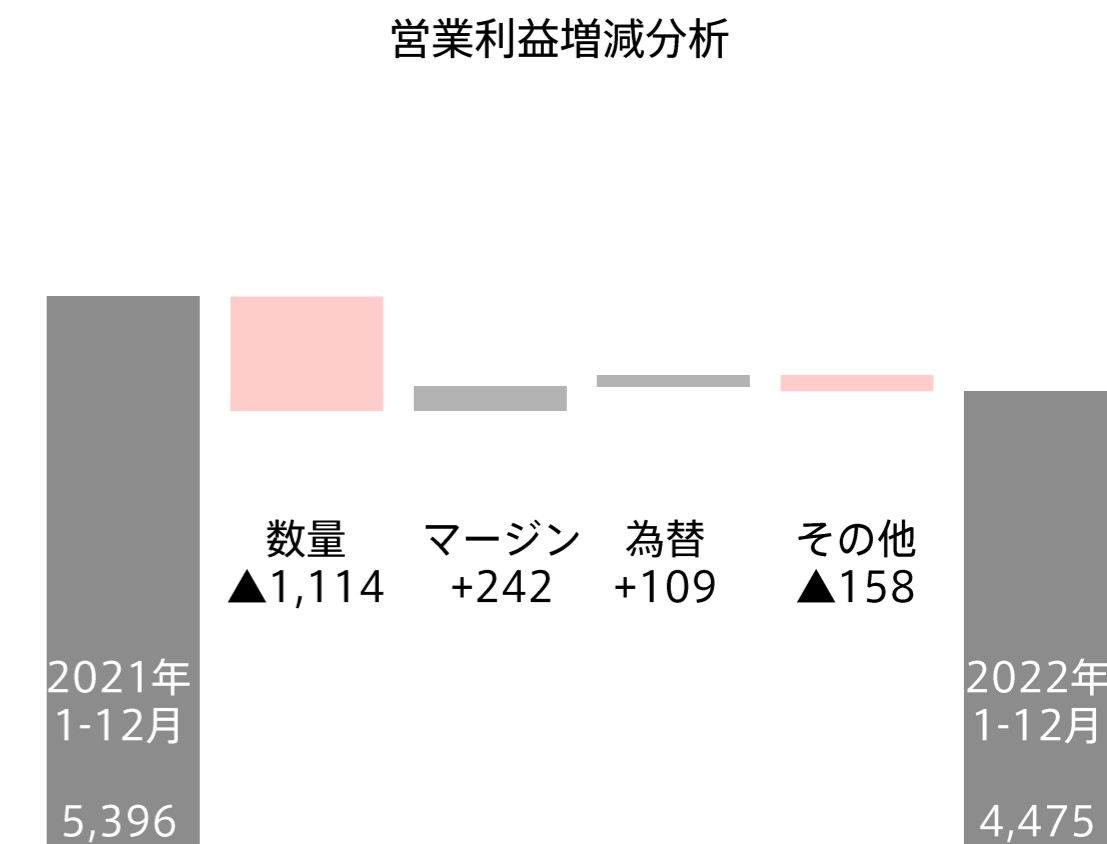
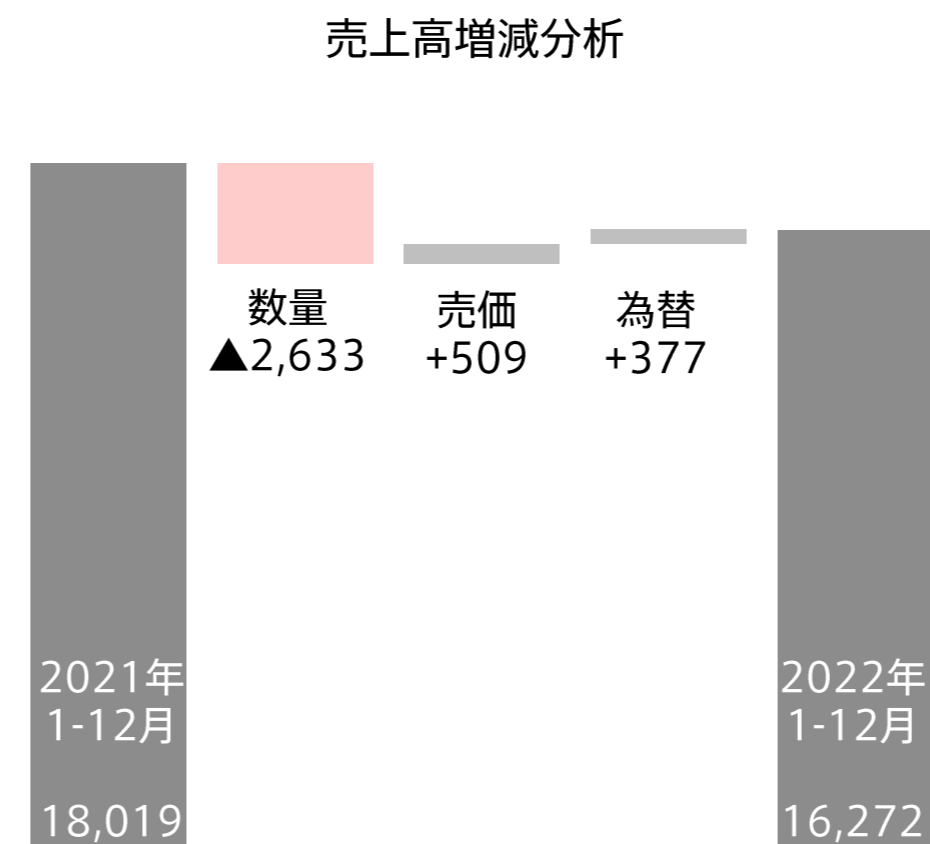




- 中国ロックダウンと対面の民生用電子部品業界の低迷を受け、生産・出荷に一部影響
- 電子部品業界向け、エネルギー関連業界向けの需要自体は引き続き堅調であり、積層セラミックコンデンサ（MLCC）、リチウムイオン電池（LiB）電極材の中長期的な市場の拡大を睨み工業炉と発熱体共に成長投資を継続

(百万円)

	2021年 1-12月	2022年 1-12月	増減額	増減率
売上高	18,019	16,272	▲1,747	▲9.7%
営業利益	5,396	4,475	▲921	▲17.1%
ROS	29.9%	27.5%		



## 主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2021年1-12月	2022年1-12月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	38,072	41,205	
税金等調整前当期純利益	23,354	42,111	
減価償却費	22,900	27,460	
のれん償却額	6,971	7,522	
売上債権増減	▲13,566	▲6,140	} 運転資本 ▲261億円 (前期▲105億円)
棚卸資産増減	▲6,147	▲24,711	
仕入債務増減	9,142	4,659	
法人税等の支払額その他	▲4,582	▲9,696	
投資活動によるキャッシュフロー	▲35,282	▲49,900	
有形固定資産取得	▲28,955	▲43,989	
財務活動によるキャッシュフロー	1,211	▲10,629	
借入金増減(CP含む)	▲604	12,947	
社債発行・償還	10,000	▲10,000	・第1回無担保社債100億円償還 (3年債、利率0.12%)
子会社株式取得	-	▲5,024	・連結子会社 (TCK) 株式追加取得 (議決権所有割合44.4%⇒47.4%)
配当金の支払	▲6,395	▲6,395	
現金及び現金同等物期末残高	64,435	49,377	

※運転資本=売上債権+棚卸資産-仕入債務

## 主な貸借対照表項目

(百万円)

	2021年12月末	2022年12月末	概要
資産合計	512,503	576,465	
流動資産	215,149	246,691	
現預金	78,858	70,909	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金月商比率 2.5倍 (前期末3.7倍)</li> <li>・棚卸資産 前期末比+288億円</li> <li>・有形固定資産 前期末比+377億円</li> <li>・無形固定資産 前期末比▲45億円</li> </ul>
受取手形・売掛金	56,668	65,197	
棚卸資産	72,479	101,330	
固定資産	297,353	329,773	
有形固定資産	144,165	181,948	
無形固定資産	123,349	118,839	
投資その他の資産	29,838	28,986	
負債合計	255,932	275,596	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット有利子負債 1,005億円 (前期末比+111億円)</li> <li>・有利子負債 1,714億円 (前期末比+32億円)</li> <li>・直接調達比率 67.1%(前期末68.4%)、長期比率 52.9%(前期末55.6%)</li> <li>・短期融資枠660億円 (前期末比+40億円) : 借入実行額60億円 (前期比末+40億円)</li> <li>・債権流動化・CP発行限度枠780億円 (前期末比+100億円) : 借入実行600億円 (前期末比+100億円)</li> </ul>
流動負債	130,418	146,696	
固定負債	125,514	128,900	
純資産合計	256,570	300,868	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己資本比率46.6%(前期末44.7%)</li> <li>・調整後自己資本比率※ 52.7%(前期末51.6%)</li> <li>・ネットD/Eレシオ 0.4倍 (前期末0.4倍)</li> <li>・調整後ネットD/Eレシオ 0.2倍 (前期末0.2倍)</li> </ul>
株主資本	206,269	218,761	
その他包括利益累計額	22,940	50,065	
非支配株主持分	27,360	32,041	
負債純資産合計	512,503	576,465	

※調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです

# II

2023年12月期

**業績予想**

- 地政学的リスクの顕在化と各国中銀の急速な金融引き締め政策などにより、年前半は世界経済は成長鈍化、各国経済財政政策の波及効果もあり、年後半からの緩やかな景気回復を見込む
- 世界的な潮流である脱炭素社会の実現に向け、当社関連市場のモメンタムは持続。3期連続の増収増益、トップラインは当社初の4,000億円台へ

(百万円)

	2022年度 実績			2023年度 業績予想 (今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	157,070	183,300	340,371	198,000	212,000	410,000	+69,629	+20.5%
営業利益	16,717	23,871	40,588	20,000	25,000	45,000	+4,412	+10.9%
経常利益	19,448	23,072	42,521	20,000	25,000	45,000	+2,479	+5.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,253	13,165	22,418	11,000	15,000	26,000	+3,582	+16.0%
EBITDA	32,987	42,585	75,572	38,000	43,000	81,000	+5,428	+7.2%
EBITDA マージン	21.0%	23.2%	22.2%	19.2%	20.3%	19.8%	—	—
ROS	10.6%	13.0%	11.9%	10.1%	11.8%	11.0%	—	—
ROIC	—	—	7.1%	—	—	7.0%	—	—
ROE	—	—	9.0%	—	—	9.5%	—	—

\* 2023年度業績予想：為替レート前提 (通期) USD1=¥130, EUR1=¥140

# セグメント別売上高・営業利益予想

16

(百万円)

	2022年度 実績			2023年度 業績予想 (今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	157,070	183,300	340,371	198,000	212,000	410,000	+69,629	+20.5%
黒鉛電極	29,164	30,466	59,630	31,000	40,000	71,000	+11,370	+19.1%
カーボンブラック	63,729	74,755	138,484	82,000	84,000	166,000	+27,516	+19.9%
ファインカーボン	23,695	25,697	49,393	25,000	27,000	52,000	+2,607	+5.3%
スメルティング & ライニング(SL)	26,606	38,596	65,203	45,000	44,000	89,000	+23,797	+36.5%
工業炉関連	8,904	7,367	16,272	9,000	11,000	20,000	+3,728	+22.9%
その他								
摩擦材	4,493	4,869	9,362	5,500	5,500	11,000	+1,638	+17.5%
負極材	409	1,478	1,888	500	500	1,000	▲888	▲47.0%
その他	68	68	136	0	0	0	▲136	-
その他計	4,970	6,417	11,387	6,000	6,000	12,000	+613	+5.4%
営業利益	16,717	23,871	40,588	20,000	25,000	45,000	+4,412	+10.9%
黒鉛電極	2,925	5,107	8,032	1,000	5,000	6,000	▲2,032	▲25.3%
カーボンブラック	4,785	7,496	12,282	8,000	8,000	16,000	+3,718	+30.3%
ファインカーボン	6,787	8,038	14,825	7,000	9,000	16,000	+1,175	+7.9%
スメルティング & ライニング(SL)	▲3	1,349	1,345	1,000	1,000	2,000	+655	+48.7%
工業炉関連	2,518	1,956	4,475	3,000	3,000	6,000	+1,525	34.1%
その他	387	721	1,108	1,000	0	1,000	▲108	▲9.7%
調整	▲681	▲798	▲1,480	▲1,000	▲1,000	▲2,000	▲520	-



## 參考資料

# 主要子会社売上高

18

(百万円)

子会社	2021年 1-12月	2022年 1-12月	増減額	所在地・事業	備考
Tokai Erftcarbon	12,217	16,340	+4,123	ドイツ 黒鉛電極	
Tokai Carbon GE	18,819	33,825	+15,006	アメリカ 黒鉛電極	・2017年11月より連結寄与
Thai Tokai Carbon Product	18,351	27,334	+8,982	タイ カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	42,831	66,458	+23,626	アメリカ カーボンブラック	・2018年9月より連結寄与
Cancarb	8,505	9,639	+1,133	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	26,020	32,531	+6,510	韓国 ファインカーボン	・2018年6月より連結寄与
Tokai COBEX	38,382	65,217	+26,835	ドイツ SL	・2019年8月より連結寄与

(百万円)	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
売上高	262,028	201,542	258,874	340,371	410,000
営業利益	54,344	7,858	24,647	40,588	45,000
ROS (%)	20.7%	3.9%	9.5%	11.9%	11.0%
EBITDA	77,053	35,262	54,518	75,572	81,000
EBITDA マージン (%)	29.4%	17.5%	21.1%	22.2%	19.8%
親会社株主に帰属する純利益	31,994	1,019	16,105	22,418	26,000
ROE (%)	16.0%	0.5%	7.5%	9.0%	9.5%
ROIC (%)	13.1%	1.6%	4.8%	7.1%	7.0%
設備投資額	24,341	28,873	30,347	48,150	63,000
減価償却費	18,503	20,890	22,900	27,460	28,000
研究開発費	2,460	2,682	2,823	3,171	4,000
有利子負債	148,030	158,643	168,249	171,452	—
ネットD/Eレシオ	0.5	0.5	0.4	0.4	—
調整後ネットD/Eレシオ	0.3	0.2	0.2	0.2	—
従業員数 (人)	3,714	4,178	4,289	4,378	—
為替レート (JPY/USD)	109.05	106.82	109.80	131.43	130

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費,

※ ROIC = 税引き後営業利益 ÷ 投下資本 (運転資本+固定資産)

# セグメント別業績推移 (四半期ベース)

20

(百万円)

	2021					2022				
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
売上高	53,968	63,412	67,714	73,779	258,874	69,512	87,558	89,261	94,038	340,371
黒鉛電極	7,957	10,028	10,412	12,220	40,619	12,362	16,802	14,502	15,963	59,630
カーボンブラック	21,595	24,669	25,997	27,228	99,491	29,430	34,298	39,621	35,134	138,484
ファインカーボン	8,826	9,851	9,873	10,574	39,125	10,935	12,760	13,127	12,569	49,393
スメルティング& ライニング (SL)	10,766	11,126	13,326	14,477	49,696	11,605	15,001	16,148	22,448	65,203
工業炉関連	1,982	4,556	4,888	6,592	18,019	2,523	6,381	3,018	4,348	16,272
その他										
摩擦材	2,134	2,269	2,186	2,289	8,880	2,290	2,202	2,341	2,528	9,362
負極材	670	876	997	362	2,907	330	78	465	1,012	1,888
その他	34	33	33	33	135	34	33	34	33	136
その他計	2,839	3,180	3,217	2,686	11,922	2,655	2,315	2,842	3,575	11,387
営業利益	4,077	6,868	6,724	6,977	24,647	7,938	8,778	11,297	12,573	40,588
黒鉛電極	▲223	346	▲311	▲211	▲400	1,258	1,666	2,378	2,728	8,032
カーボンブラック	1,807	2,546	2,331	2,098	8,783	3,049	1,735	4,201	3,295	12,282
ファインカーボン	2,146	2,411	2,458	2,594	9,611	2,912	3,874	4,312	3,726	14,825
スメルティング& ライニング (SL)	42	259	917	705	1,925	67	▲71	▲301	1,650	1,345
工業炉関連	521	1,431	1,406	2,036	5,396	763	1,754	790	1,166	4,475
その他	138	210	255	151	754	201	186	312	409	1,108
調整	▲355	▲337	▲334	▲396	▲1,423	▲314	▲367	▲395	▲402	▲1,480

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先  
総務部 TC-IR@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust  
**TOKAI CARBON CO., LTD.**